

2018年度 数学教育学会 夏季研究会（関西エリア）案内

黒田恭史（夏季研究会実行委員長・京都教育大学）

2018年度数学教育学会夏季研究会（関西エリア）を、京都女子大学において開催します。ふるってご参加ください。

1. 日程

2018年6月9日（土）10：00－15：30

2. 会場

京都女子大学 C校舎 504教室

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35

<http://www.kyoto-wu.ac.jp/>

京都駅からプリンスラインバスで約10分、「京都女子大学前」で下車。

京都市バス206系統・208系統または100系統で約10分、「東山七条」で下車し、東へ徒歩約5分。

京阪電車「七条駅」から東へ徒歩約15分。

3. 実行委員会

委員長：黒田恭史（京都教育大学）

委員：坂井武司（京都女子大学），柳本哲（京都教育大学），岡本尚子（立命館大学）

顧問：鈴木正彦（大阪教育大学名誉教授）

4. プログラム

一般発表 10:00～12:30

10:00 全盲生徒を対象とした数値計算指導のための環境設定

今西雅次（京都府立盲学校）

10:25 『改正教授術』における開発主義の算術教育

西川恭一（四天王寺大学），富永雅（大阪教育大学）

10:50 グローバルな教育経験による算数・数学科指導の資質・能力の向上に関する研究

赤井秀行（堺市立竹城台小学校），坂井武司（京都女子大学）

11:15 リーマンゼータ値と多重ゼータ値

～高等学校数学教育における発展的題材としての視点から～
村原英樹（中村学園大学）

11:40 空間図形問題遂行時における脳活動計測の実験課題について

木下卓海（京都教育大学大学院），黒田恭史（京都教育大学）

12:05 数学的洞観力を向上させる算数研修プログラムに関する研究
坂井武司（京都女子大学）、赤井秀行（堺市立竹城台小学校）

シンポジウム 13:30～15:30

「学習指導要領に新設された『データの活用』をもとにした統計教育」

コーディネーター

・坂井武司（京都女子大学）

「統計教育が目指す資質・能力と今後の課題・展望」

シンポジスト

・下道成人（泉大津市立条南小学校）

「議論する算数へー『データの活用』領域で育む資質・能力ー」

・河合真美（東大阪市立楠根中学校）

「『データの活用』をもとにした統計教育ー中学校での変化と課題ー」

・稲葉芳成（立命館宇治中学校・高等学校）

「高校生対象の授業実践から省察する統計教育の実情と期待」

5. 会費

一般 2,000 円 学生 500 円

6. 発表申込・原稿提出期限、及び原稿作成方法

(1)原稿提出締切 5月26日（土）17:00 まで

(2)原稿フォーマット

・原稿形式は年会・例会フォーマットに準拠し、頁数は最大4ページまでです。ページ番号は入れないでください。

・原稿1頁右上に、「2018年度数学教育学会夏季研究会（関西エリア）発表予稿集」と記入してください。

・原稿提出は、E-mailの添付ファイルにて、Word形式とPDF形式の両方を送信してください。

7. 原稿提出連絡先

京都女子大学 教育学部 坂井武司

E-mail : sakaita@kyoto-wu.ac.jp